

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本柔道整復専門学校
設置者名	学校法人 花田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	柔道整復科第1部(3年制)	夜・通信	1, 590時間	80×3=240時間	
	柔道整復科第2部(3年制)	①夜・通信	1, 590時間	45×3=135時間	
		夜・通信	時間		
		夜・通信	時間		
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本柔道整復専門学校
設置者名	学校法人花田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて理事名簿を公開 https://www.hanada.ac.jp/data/statement.html
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	整形外科クリニック院長	2017.10.31～ 2020.10.30	組織運営体制への チェック機能
非常勤	元厚生労働省局長	2017.10.31～ 2020.10.30	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本柔道整復専門学校
設置者名	学校法人 花田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画書(シラバス)の作成過程 シラバスの作成過程については年度ごとに教務より担当教員に対して科目の目的や目標、成績評価等の内容を予め提示し、担当教員はそれに授業方法や授業内容等を検討し、原案の作成を行う。原案を基に教務にて検討し担当教員との合議により作成している。 ・ 授業計画作成、公表時期 シラバスの作成については新学期が始まる3~4ヶ月前より取組み、新年度に入り、冊子を用いて、授業開始前にオリエンテーションを行い、周知徹底している。4月上旬以降、事務室に閲覧用シラバスを備え置き、受付にて閲覧希望の旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。 ・ ホームページには公表していないが、近々に公表できるよう鋭意取り組んでいる。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>冊子として学生に配布。その他、事務室に備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位の授与、進級審査に関しては、学生の出席状況、成績評価、日常の生活態度等を鑑み、校長、教務部長、副教務部長、教務主任、各クラス担任にて会議を行い、厳格かつ適正に実施している。 ・ 進級審査に関する項目 <ol style="list-style-type: none"> 1. 各科目の出席が2/3に満たなかった者 2. 正当な理由なく定期試験、追再試験を受験しなかった者 3. 追再試験該当者で追再試験を受験しなかった者 4. 再試験科目が5科目以上の者 5. 再試験科目が4科目以上の者で、再試験の結果において向上がみられなかった者 6. 授業料の納入が完了していない者 	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績の評価に対してはGPAの算出方法などは導入しておらず、素点を用いて評価をしている。成績の分布状況や正答率の分析を行い、学生には個人成績表として配布している。また、各教科担当教員により、それぞれの教科に対する対策等を検証し実施している。 ・将来的にはGPA方式を導入し、公表することを検討し取組んでいる。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業認定に関しては、将来柔道整復師となるのに、当然身につけておかなければならない資質（身嗜み、言動、行動等）、能力（学力並びに実技）が備わっているかどうかの判定を進級審査と同様、卒業判定会議において厳正かつ適正に実施している。 ・卒業認定に関する項目（学則施行細則第12条） <ol style="list-style-type: none"> 1. 所定の単位を取得していない者 2. 3年次定期試験の平均点が60点未満（100点満点換算）の者 3. 3年次の実技試験の平均点が60点未満の者 4. 特別試験及び実力試験の結果が60%未満の者 5. 3年次12月まで換算欠席日数が50日以上の方 6. 授業料の納入が完了していない者 <p>※学則施行細則は入学時のオリエンテーション資料の冊子に記載。また、卒業認定に関する方針は事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く、受付付近にその旨を掲示し、周知している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本柔道整復専門学校
設置者名	学校法人 花田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	直近3年分の情報をホームページで公表している。 https://www.hanada.ac.jp/data/statement.html
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	柔道整復科 第1部 (3年制)	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
3年	昼	2,760 単位時間/単位	1,860 単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人	86人	1人	9人	37人	46人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義では項目ごとにまとめのプリントを配布したり、PCにて映像を用いたり、模型等を使用したりしながら、学生がより取り組みやすい環境づくりに努めながら、講義計画を立てている。また、担任教員の指導のもと、悩み相談や進路相談等、幅広く、きめ細かい指導を行い、中途退学者を出さないよう、積極的な学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	12人 (29.3%)	17人 (41.5%)	12人 (29.3%)
(主な就職、業界等) 病院、接骨院、トレーナー・スポーツ施設等			
(就職指導内容) 教員による個別相談等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 柔道整復師の国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
108人	5人	4.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科 第2部 (3年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,760 単位時間/単位	1,860 単位時間/単位	単位時間/単位	900 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	28人	0人	9人	37人	46人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 講義では項目ごとにまとめのプリントを配布したり、PCにて映像を用いたり、模型等を使用したりしながら、学生がより取り組みやすい環境づくりに努めながら、講義計画を立てている。また、担任教員の指導のもと、悩み相談や進路相談等、幅広く、きめ細かい指導を行い、中途退学者を出さないよう、積極的な学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	1人 (20.0%)	1人 (20.0%)	3人 (60.0%)
(主な就職、業界等) 病院、接骨院、トレーナー・スポーツ施設等			
(就職指導内容) 教員による個別相談等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 柔道整復師の国家資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	2人	6.5%
(中途退学の主な理由) 経済的な理由、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が続く者への担任に個別フォロー、個人面談の実施、成績不良者への少人数での補習の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
柔道整復科 第1部	600,000円	1,040,000円	450,000円	その他は施設費総額 初年度 130,000円/年 それ以外 160,000円/年
柔道整復科 第2部	400,000円	1,040,000円	450,000円	その他は施設費総額 初年度 130,000円/年 それ以外 160,000円/年
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務室に閲覧用ファイルを備え置き、希望者はその旨を申し出れば、いつでも閲覧できるようにしている。来校者にも目に付く受付付近にその旨を掲示し、周知している。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 2019年度内に業界関係者、卒業生等を含む学校関係者評価に係る委員会を設置、それぞれの知見を活かし、教育内容・学校運営等について評価を行う。評価内容を理事会に報告し、改善に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hanada.ac.jp/judo/index.html
--